

神

奈良県立金沢文庫で管理する国宝・称名寺聖教のなかには、法要や勧進などの儀礼の場で読み上げられた、表白や説草（説教の台本）が多数残されています。それらは唱導資料と呼ばれ、中世の主要な社寺の神仏にまつわる縁起などが説かれており、今では失われた古い信仰世界を浮かび上がらせます。種々の唱導資料を通じて、伊勢神宮や春日大社、八幡宮など様々な神々のすがたを、関連する美術作品などとともにご紹介いたします。

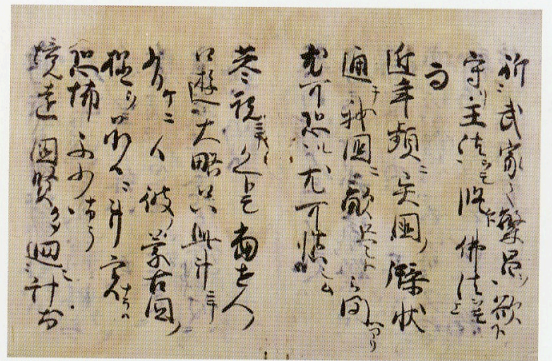
本展覧会では、法会の場で活躍した唱導の名手たちの作品を集めた「神をめぐる唱導」、朝廷や国土を守護する神々への祭祀の諸相を紹介する「王城鎮護の神々」、日本各地に展開した霊場をめぐる縁起や霊験譚を読み解く「神々います霊場」、神秘に彩られた神々のすがたを記す中世神道説をひもとく「秘説の中の神々」という四章から、中世の神々の世界を再現していきます。



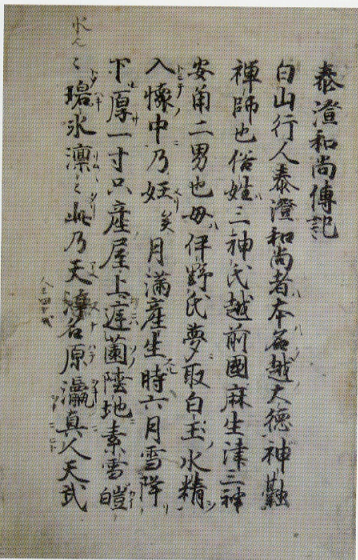
伊勢参詣曼荼羅 室町時代後期-桃山時代 公益財団法人小田原文化財団
伊勢神宮の内宮と外宮、その参拝者の様子を描いた最古級の参詣曼荼羅。



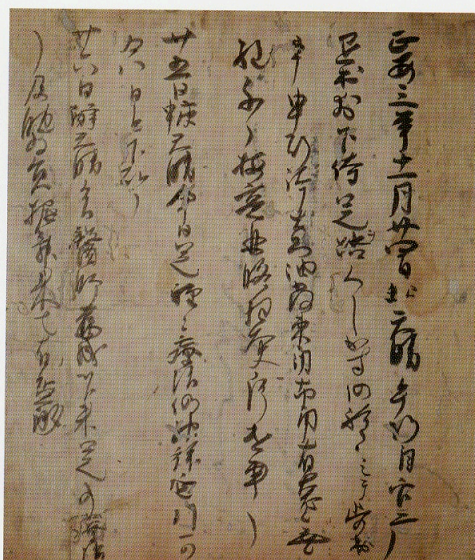
国宝 天地麗気記 鎌倉時代 称名寺
伊勢神宮の神々の姿を描き出した珍しい卷子本。



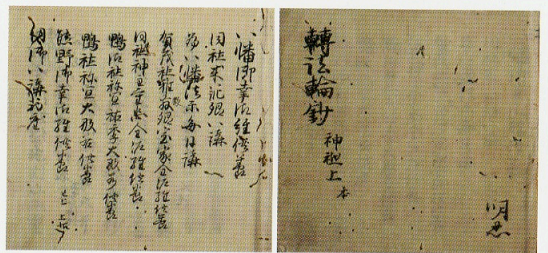
国宝 勧進旨趣 鎌倉時代 称名寺
蒙古襲来の脅威に晒され、神仏に救いを求める人々の姿が記されている。



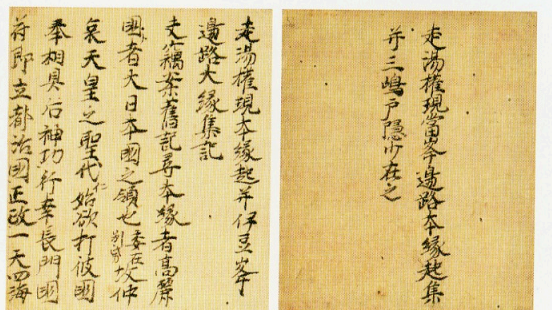
国宝 春澄和尚伝〈白山縁起〉
鎌倉時代 称名寺
修験の霊山として信仰を集めた白山の由来を記した縁起。



業頭王西宮参詣記 鎌倉時代 国立歴史民俗博物館
神祇伯就任後、業頭王がはじめて西宮社を訪れた際の記録。



国宝 転法輪鈔〈神祇〉 鎌倉時代 称名寺
中世の代表的な安居院流唱導資料のひとつ。神祇をめぐる唱導を収める。



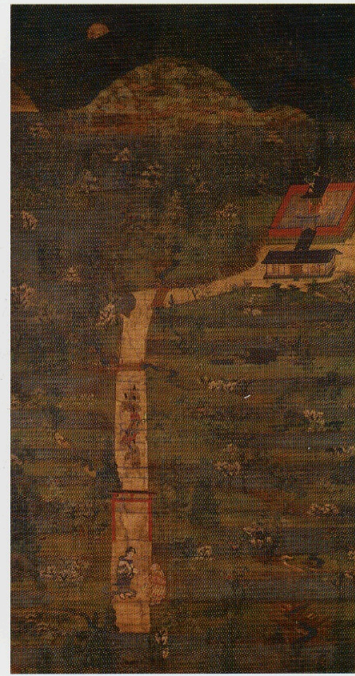
国宝 走湯権現本縁起集 鎌倉時代 称名寺
鎌倉時代の伊豆山(走湯山)をめぐる縁起とその信仰がうかがえる。



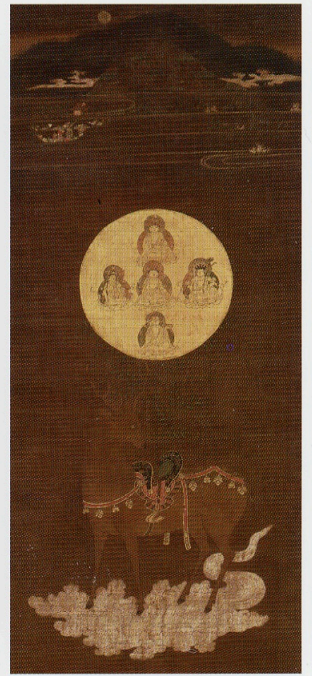
騎馬護法童子像 鎌倉時代 千妙寺
比叡山に伝来した護法神の秘本。織田信長の焼討に遭うも救い出されて関東にもたらされた。



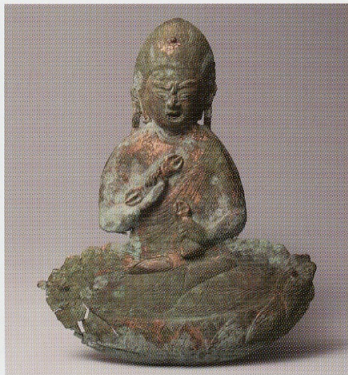
若宮神像 鎌倉時代 個人像
八幡宮の若宮神を描くとみられる珍しい画像。米国・旧パワーズコレクション。



春日若宮曼荼羅 鎌倉時代
公益財団法人小田原文化財団
春日若宮社を背景に、参道には影向した若宮文殊と御神体を感得した高僧を描く。



春日鹿曼荼羅 室町時代 個人蔵
春日神の使いである神鹿、背後には春日山、円鏡内には本地仏を描く。



愛染明王懸仏 平安時代 不空庵文庫
熊野速玉大社の摂社・神倉神社出土とみられる懸仏



大威徳明王懸仏 鎌倉時代 個人像
熊野速玉大社の摂社・阿須賀神社出土とみられる懸仏。

連携館情報

国文学研究資料館 特別展示「祈りと救いの中世」

〔会期〕 平成30年10月15日(月)～12月15日(土)
〔休館日〕 日曜日、祝日、11月14日(水)
〔観覧料〕 無料

神奈川県立歴史博物館 特別展「鎌倉ゆかりの芸能と儀礼」

〔会期〕 平成30年10月27日(土)～12月9日(日)
〔休館日〕 毎週月曜日
〔観覧料〕

一般	900円(800円)
20歳未満・学生	600円(500円)
65歳以上	200円(150円)
高校生	100円

※中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料
()内は20名以上の団体料金

國學院大學博物館

企画展「列島の祈り—祈年祭・新嘗祭・大嘗祭—」 特集展示「祈年の法会と神々」

〔会期〕 平成30年11月3日(土・祝)～平成31年1月14日(月・祝)
〔休館日〕 11月19日(月)、12月3日(月)、12月4日(火)
12月26日(水)～1月6日(日)
〔観覧料〕 無料

関連行事 (事前申込制)

〔特別講演会〕

- ①12月23日(日・祝) 西岡芳文氏(上智大学)
「伊豆・箱根・富士をめぐる「かたり」の世界」
- ②1月12日(土) 阿部泰郎氏(名古屋大学人類文化遺産テキスト研究センター)

「中世東国に顕われた神々—神々はいかに顕されたか—」

〔ワークショップ〕

- ③1月13日(日) 阿部美香氏(名古屋大学人類文化遺産テキスト研究センター)・大高康正氏(静岡県富士山世界遺産センター)

「絵解きで顕わす伊豆・富士山の世界」

〔連続講座「顕われた神々」〕

- ④12月9日(日) 藤元裕二氏(浅草寺)
「東叡山千妙寺の仏画—護法童子像を中心に—」
- ⑤12月16日(日) 清水 実氏(三井記念美術館)
「伊勢参詣曼荼羅の読み解き」
- ⑥12月22日(土) 齋藤 望氏(大谷大学)
「童子像のふしぎ」
- ⑦12月24日(月・祝) 大東敬明氏(國學院大學博物館)
「記される神社・霊地—古代から中世へ—」
- ⑧1月5日(土) 高橋悠介氏(慶應義塾大学附属斯道文庫)
「中世密教の日本起源神話」
- ⑨1月6日(日) 伊藤 聡氏(茨城大学)
「神道灌頂の世界」

〔月例講座〕

- ⑩11月17日(土) 貫井裕恵(神奈川県立金沢文庫)
「特別展 顕われた神々のみどころ—唱導の世界へ—」
- ⑪12月8日(土) 瀬谷貴之(神奈川県立金沢文庫)
「神像としての仏像」
- ⑫1月14日(月・祝) 三輪真嗣(神奈川県立金沢文庫)
「東大寺弁暁の唱導と寺院社会」

〔時間〕 特別講演会・ワークショップ・連続講座は13:30～15:30、月例講座は13:30～15:00

〔会場〕 神奈川県立金沢文庫 地下大会議室

〔定員〕 100名、③のみ50名(応募多数の場合は抽選)

〔受講料〕 ①～③、⑩～⑫は無料(ただし当日の観覧券が必要です)、連続講座④～⑨は各回1000円

〔申込方法〕 金沢文庫HP「講座申込フォーム」、往復はがき(お一人様1講座1通まで)に、講座名(開催日)、住所、氏名、電話番号を明記の上、

①12月9日、②12月16日、③12月16日、④～⑨11月25日、⑩11月4日、⑪11月25日、⑫12月16日必着でお申し込みください。連続講座④～⑨はまとめてお申し込みいただくことも可能です。



随神坐像 平安時代 個人蔵

- [主催] 神奈川県立金沢文庫
 大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国文学研究資料館
 国立歴史民俗博物館 国際日本文化研究センター
 國學院大學博物館 神奈川県立歴史博物館
 名古屋大学人文学研究科附属人類文化遺産テキスト学研究センター
- [協力] 横浜市金沢区役所
- [会期] 平成30年11月16日(金)～平成31年1月14日(月・祝)
- [開館時間] 午前9時～午後4時30分(入館は閉館の30分前まで)
- [休館日] 毎週月曜日
 (ただし12月24日(月・祝)、1月14日(月・祝)は開館)、
 12月25日(火)、12月28日(金)～1月4日(金)
- [料金]

20歳以上	700円(600円)	
20歳未満・学生	500円(400円)	※中学生以下、障がい者は無料
65歳以上	200円(100円)	()内は20名以上の団体料金
高校生	100円	



[交通] 京浜急行「金沢文庫駅」東口より徒歩12分
 (快特で品川駅より33分、横浜駅より16分)
 シーサイドライン「海の公園南口駅」より
 徒歩10分(JR根岸線「新杉田駅」接続)

神奈川県立 金沢文庫

〒236-0015 横浜市金沢区金沢町142
 TEL. 045-701-9069 / FAX. 045-788-1060
<http://www.planet.pref.kanagawa.jp/city/kanazawa.htm>

科研費
KAKENHI

かな
ちゃん
TV

次回予告

特別展 伊藤博文と金沢

平成31年1月19日(土)～3月10日(日)